



いずみ

令和8年4月6日発行

<学校教育目標>

自ら行動する子
かかわり合い、
よりよい自分を
目指す子

学校HP



コミュニティ
スクール



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

笑顔・発見!自分たちで作る和泉小学校

校長 鷲見 真太郎

令和8年度が始まりました。和泉小学校に着任して6年目、本校の教育活動がさらに子供たちの成長につながるように、よりよい取組を模索し、推進していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。さて、年度初めです。これまでの学校経営方針に新たに加えた部分を中心に、お伝えさせていただきます。

まず、今年度は新たに学校のキャッチフレーズ(本巻頭言の表題)を設定しています。これは、昨年度に4年生以上で実施した、学校をさらに良くするためのアンケートの結果から、児童運営委員会「いずみサミット」で話し合っただけのものではなく、これまで掲げていた、目指す学校の姿「子供と大人が協働して築く和泉小学校」の流れを汲み、また文言に子供たちの主体性も感じられ、校長としてとても誇らしく思っています。また、目指す児童の姿もそれに合わせて少し変えて「主体性」を前面に打ち出しています。いずみサミットが、経営方針や学校の決まりなどの自分たちの生活、そして学校運営協議会にも意見を提案するなど、教育活動全般で自己実現していく仕組を機能させていきます。

さらに、昨年度は2本だった取組の柱を3本に増やしています。「問いをもった学び」はその継続性の部分を発展させ、探究的な学びを一つの柱として設定しています。本校がこれまで行ってきたダイナミックな体験活動を学びの起爆剤として、探究的な流れになっていくよう、カリキュラムや活動を工夫していきます。そして、いずみサミットを中心とした子供たちによる学校づくりも含めて、学びの主体性やスパイラルしての積み上げと継続性などについて、包括的な校内研究として取り組んでいきます。これまでの本校の取組がさらに高まるよう、教職員一同挑戦し続けます。

また、学校がすべての子供たちの居場所とするための取組として、昨年度から開設した「みんなの居場所」を中心に、地域も含めた様々な諸機関や校内組織を連動させたチームとして、子供たちの見守り体制を強化していきます。

今後とも、ご理解、ご協力いただき、本校を支えていただけましたら幸いです。今年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

4月の安全指導

安全な登下校について

○通学路の歩き方や横断歩道の渡り方

事故が起こらないように周りを見ながら安全に注意して登下校できるように指導します。